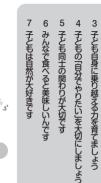


## 全私保連 保育運動新しい時代は子どもから

私たちが伝えたい7つのメッセ





# いつもの保育の実践と 写真で伝える 私たちが伝えたい 7つのメッセージ

子どもの「遊び」を守りましょう 子どもの思いを受け止めましょう

ります。 決めつけや慣れではなく、子どもたちに思いを聞いてみることも重要です 助が主となりますが、 また、思いを受け止めることは、子ども理解や信頼関係の構築にもつなが 助をしてしまいますが、子どもから見ると違う思いがある場合もあります。 子どもたちの成長を見守る立場では、どうしても大人目線での指示や援 歳からの保育では、 子どもの思いを受け止めまし ……ピーステーブル 同時に ムツ交換に代表される保育者による 「スッキリしたね!」などの声かけを行 い時代は子どきある

てのやり取りは難しい状況にありますが、理解は進んでいるとも言われて という信頼から「愛着関係」が培われます。 乳児保育では十分に言葉を遣

でジャッジし解決してしまうことが多くあります に頻繁に発生することで、保育者による直接的な介入により、 合いが生じます。 が生じるために、 いう協働性が育ま また、子どもたちの集団の場である保育施設では、 共感して楽しむことや力を合わせて何かを成 特に保育施設では多くの子どもたちが関わり合うがため れる一方、 同じだからこそ起きる、 同じ行動や同じ考え ラブルやぶつかり 大人の視点 し遂げると

睨み合っていました。 をぶった!」と周りの子どもたちが伝える中、当人同士は険悪なムードで れた子はなかなか許すことができずに でしたので、 一角でケンカが始まったことを伝えて来ました。その ある日の3・ 謝罪をさせて仲直りという流れで声かけをしましたが、 4・5歳児のクラスで、 叩いたことは子どもたちの話からも事実であるよう いました。 何人かの子どもたちが、 場では 「A君がB君

の考えと、 たかを教えてほしい!」 その場を見守って 子どもたちの中での思いには違いがあるということを深く感じ いると、 と告げました。このやり取りを受けて、 その子が小さな声で「なんで、 ぶちたくなっ 大人視点

その後、 お互いの思いを伝え合い満足した様子で、 遊びに戻っていきま

での会話が 時に子どもたちで話し合える場を設けました。 この件もあり、 いつでも子どもたちが必要に応じて利用できるように環境を整えてい な介 分できることを大切にしています。そして、 入をするのではなく、 Ż (テーブル」という場をつくり、 子ども同士の会話を重視するために、 大人は近くで見守 トラブル ここでは大人の指示 や問題が起きた 子どもたち同士 ステーブル -保育の

11 ——— 保育通信■No. 817 2023. 4. 1. 保育通信■No. 817 2023. 4. 1. — 10

食事の際に「美味しいね!」、遊びの中で「楽しいね!

と共感することでも、

子どもとの関係が深まり、

思いを受け止めてくれる

おもしろいね!」

さらに、

言葉で子どもたちの気持ちに寄り添うことも大切にしています。

### 全私保連 保育運動新しい時代は子どもから

## ジャージを 経本・量話で 読んでみると…… 7つのメッセージ

中村柾子 東京・豊川保育園元園長

私たちが伝えたいてつのメッセージ

子どもの思いを受け止めましょう

2 子どもの「遊び」を守りましょう

いやいやえ

中川李枝子 a ( 大村百合子 \*\* 子どもの本研究会 は\*\*

明しい時代は子どきあが

5 子ども同士の関わりが大切です

子どもは自然が大好きです みんなで食べると美味しいんです

3 子ども自身に乗り越える力を育てましょう 4 子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう

ど通じませんからね。

エペは気持ちが晴れました。3歳の子に慰めな

ルを頭にかぶせてやったのです。

仁へは ぼうしが だいすき

石亀泰郎

子どもも大人同様、さまざまな感情を持ち合

幼さゆえに心の揺れを自 しばしば大人の手を借

文化出版局

福音館書店、

子どもの本研究会・編集中川李枝子・さく/大村百合子・えいやいやえん

とうとう、 この対応に異を唱える人もいるかも知 いやいやえんへ。 れませ

どもです。約束を破りあわや物置ゆきになりそ

『いやいやえん』のしげるも、手の焼ける子

うになったり、

赤い色でないといやだとごね、

ペは

保育園に通う3歳の男の子です。

りることになります。 ら収めることができず、 わせています。でも、

『イエペはぼうしがだいすき』

の主

人公イエ イエペ

きな茶色の帽子をかぶっています。 時も先生に本を読んでもらう時も、 には、こだわりの帽子があります。

ところがあ いつも大好 室内遊びの

文化出版局、1978年石亀泰郎・写真/文化出版局編集部・文イエペはぼうしがだいすき

らっている子どもたちは大喜び。とことこん我 しかし、そこは作品のみごとさ。読んでも

ポプラ社、2003年柴田愛子・文/伊藤秀男・絵ぼくはいかない

まま受け止めました。 ない」と、答えました。担任は彼の決断をその えてくるように」と言います。翌日、しんたろ お母さんの行かないキャンプには「行か

開けてもらいました。

幼い子は自分から、「遊び場がほしい!」と

でも子どもたちは、

頑張り通し、

ついにカギを

一つクリアすると次々と難題を出す校長先生。 びゅんごまが回せたら」と宿題を課したのです。 先生は「このキャンプに行くか行かないか、考

判します。

ところが校長先生は、子どもたちに「びゅん

を通すしげるに笑い転げています。

保育者は、子どもが怒ったり、すねたり、こ

驚きをもって迎えられた作品でした。 を表してもいいということが衝撃的だったので しょう、この絵本を読んだ父母や保育学生 いないのが残念ですが、行かないという気持ち キャンプに向けてどんな保育をしてきたの 子どもが抱える不安に向き合い、 仲間関係はどうだったのか、絵本は描いて

長組は夏にキャンプに行くことになっていま

キャンプ先での楽しい遊びを話した後で

近年、

われています。

彼の通う「あそび島」では、年

の行事に子どもが参加するのは当たり前だと思 発言は波紋を呼びました。昔も今も、園や学校 たら、さてどんな気持ちになるでしょう。 てやれますが、行事に参加したくないと言われ ません。「そうか、そうだったの」と寄り添っ だわったりすることには、さほど動揺したりし

『ぼくはいかない』の主人公、しんたろうの

間柄。同じ場で継続的に遊ぶからこそ、 が、子どもの遊びが限定されることは目に見え は都市部が抱えるやむを得ない策なのでしょう やることができたら、彼はキャンプに行ったで います。遊びと環境は切っても切り離せない 園庭のない園が増えてきました。 取り除いて 遊びを 多く から でしょう。 まれるよう、 主張できません。子どもたちに豊かな遊びが生 環境を整えてやるのは大人の責務



童心社、1982年 室小社、1982年

学校はただちに、遊び場を閉鎖しました。子ど ていた子が滑り落ちて骨折してしまいました。

もたちは、

開けてもらえるよう校長先生に直談

び場があります。

ある日、

丸太の一本橋を渡 自然に恵まれた遊

0

なる小学校がそのいい例です。この学校の隣に

フェンスひとつ隔てて、

『びゅんびゅんごまがまわったら』の舞台と

「続けてやりたい」気持ちになるのです。

それでイ つぶれ ような手を打ったでしょう。

先生の対応は、

じつに見事でした。

いつもの自分になれないイエペに、先生はどの る日、帽子をかぶらずに登園してしまいました。